

資源循環

川崎市の取組

川崎市では、ごみの適正処理を推進するとともに、普及啓発、環境学習、市民参加の取組など3R推進に向けた様々な施策を進めてきました。これらの取組については、近年のプラスチックごみに関する機運の高まりを捉えながら今後も進めていくとともに、環境産業等と連携した「かわさきプラスチック循環プロジェクト」などの新たな取組を推進していくことで、より良い未来へとつなげていきます。



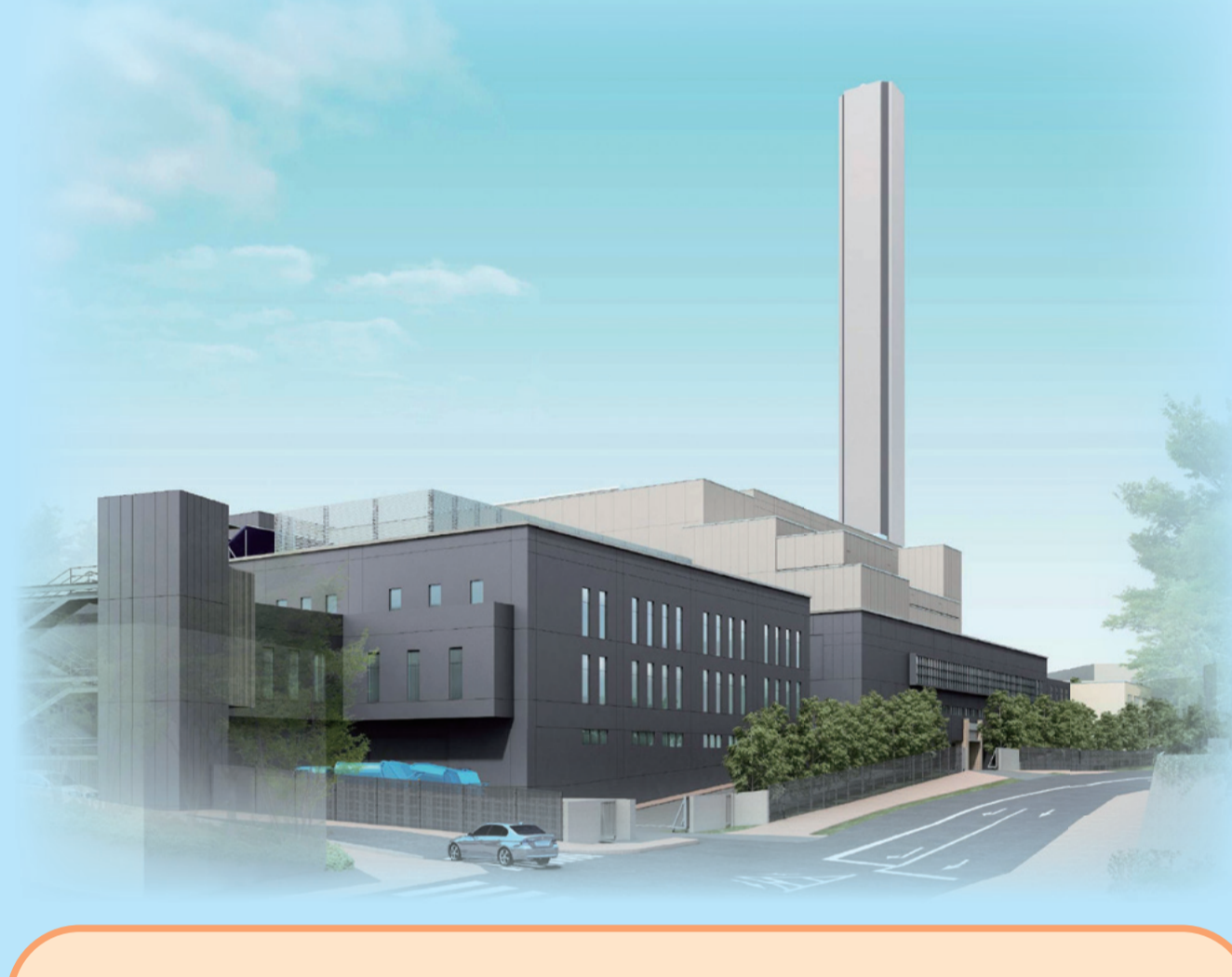
環境美化活動の推進



「3R講演会」
落語で学ぶ海洋ごみ問題



「ごみゼロカフェ」で
マイクロプラスチックを使ったキーホルダー作り



新しい焼却処理センターで
更なる適正処理の推進



「ふれあい出張講座」で
環境学習

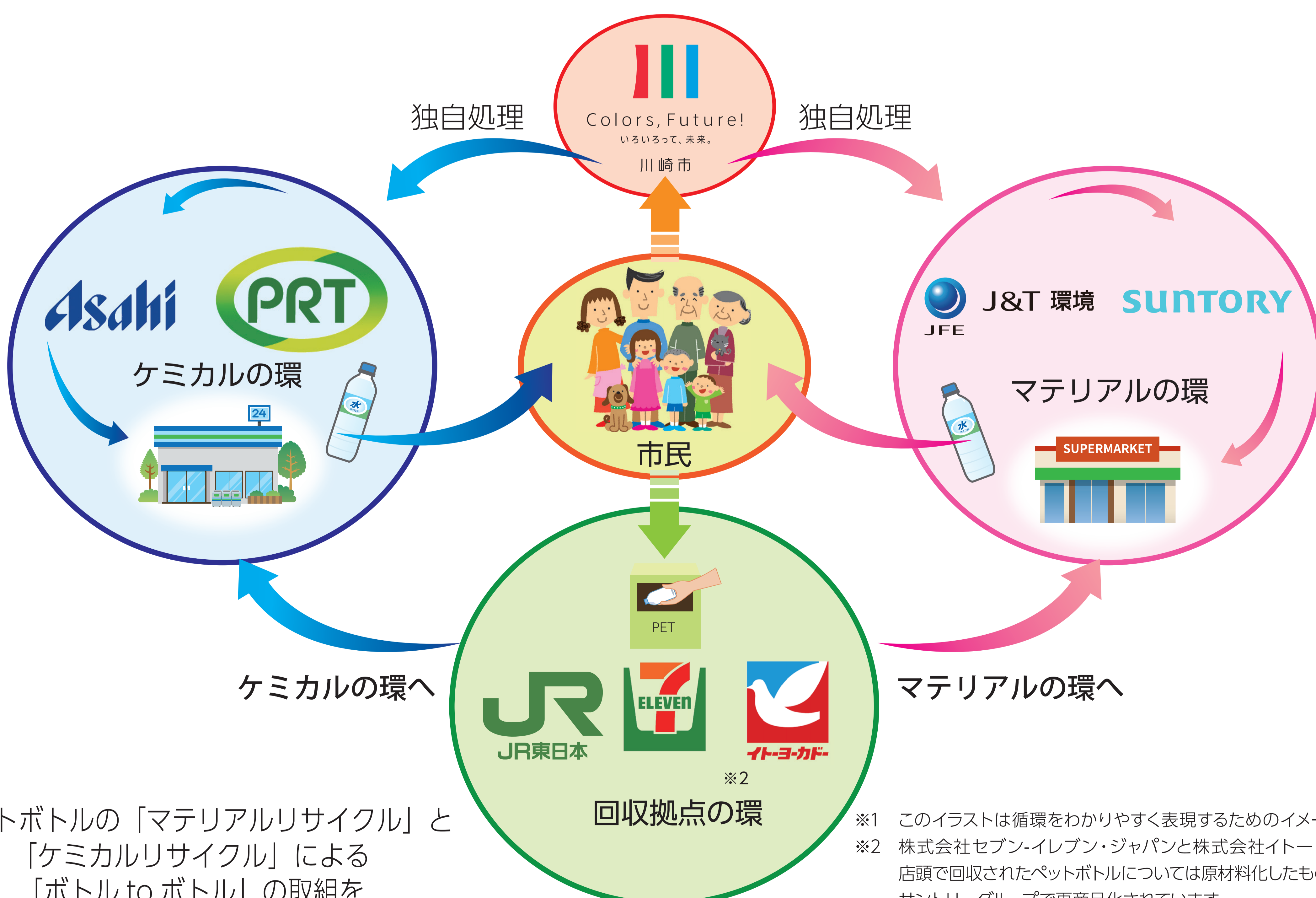


適正排出の呼びかけ

トピック

川崎市における更なるプラスチック資源循環を目指すプラットフォームとして、「かわさきプラスチック循環プロジェクト」を2022（令和4）年4月に設立しました。本プロジェクトでは、市民、事業者、行政が実施している様々なプラスチック資源循環や拠点回収などの取組を連携して推進し、更なるプラスチック資源循環に向けた行動変容を促進するとともに、新たな取組を企画・展開するプラットフォームを構築することを目的としています。

かわさきプラスチック循環プロジェクト 川崎モデルの3つの環 イメージ ※1



ペットボトルの「マテリアルリサイクル」と「ケミカルリサイクル」による「ボトルtoボトル」の取組を市域内で実施しているのは全国で川崎市のみ

※1 このイラストは循環をわかりやすく表現するためのイメージです。
 ※2 株式会社セブン-イレブン・ジャパンと株式会社イトーヨーカ堂の店頭で回収されたペットボトルについては原材料化したものの一部がサントリーグループで再商品化されています。
 ※ 市内で回収されたペットボトルにはこの他のリサイクルルートでもリサイクルされています。